

平成29年度 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 総会について(ご報告)

8月3日(木)、岐阜市で全国の教育長(評議員)及び会員23名の参加のもと、「全国コミュニティ・スクール連絡協議会総会」が開催され、以下の報告事項について事務局から説明するとともに、協議事項について決定しました。

報告事項(事務局から)

- (1) 会員の登録状況について・・・436名(平成29年4月1日時点)
- (2) 平成28年度の活動・決算について

協議事項(評議員の賛成により、全て決定)

- (1) 役員人事 ※最終ページの役員・支部長及び評議員一覧参照

会 長	在田 正秀(京都市教育長)	⇒	(再任)
副 会 長	中野 敏明(上越市教育長) ※平成29年7月26日退任	⇒	佐々田 亨三(由利本荘市教育長)
会計監事	山脇 健(岡山市教育長) ※平成29年3月31日退任	⇒	菅野 和良(岡山市教育長)
	佐々田 亨三(由利本荘市教育長)	⇒	山本 直俊(春日市教育長)
顧 問	鈴木 寛(東京大学教授、慶應義塾大学教授、文部科学大臣補佐官)		
	貝ノ瀬 滋(文部科学省初等中等教育局視学委員、東京家政大学特任教授、東京都教育会会長)		
	生田 義久(京都市教育委員会企画顧問、京都市前教育長、佛教大学教授)		

- (2) 活動方針

会報発行・HPの充実・情報交流等、コミュニティ・スクールの積極的な普及・啓発に向けた情報発信及び組織としての連携強化に努める。

- (3) 平成29年度の活動・予算

会費は前年度と同額(正会員2,000円、賛助会員20,000円)

※11月下旬に事務局から請求書を発送予定

- (4) 平成30年度全国コミュニティ・スクール研究大会の開催地

開催地：北海道三笠市

日 時：平成30年秋頃 ※決定次第お知らせいたします

なお、本連絡協議会総会は大会前日に三笠市にて行います



総会終了後、来賓の文部科学省 文部科学省初等中等教育局参事官 木村 直人 様(前列左から3人目)とともに、役員・評議員の記念撮影(於：ホテルグランヴェール岐山)



「2017年 全国コミュニティ・スクール研究大会in岐阜」について

(主催:文部科学省、全国コミュニティ・スクール連絡協議会、岐阜市教育委員会)

8月4日(金)、全国各地から1,300名の皆様にご参加いただき、「地域の教育力を高め活用するコミュニティ・スクール」という大会テーマのもと、「2017年 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 岐阜」を開催しましたので、当日の様子をご報告いたします。

【午前】意見発表(早川三根夫 岐阜市教育長) テーマ:「意外とやさしいコミュニティ・スクールのつくり方と育て方」



「我が校はコミュニティ・スクールです」と言い切ることが大切

岐阜市では「岐阜市の全ての学校をコミュニティ・スクール(以下、CS)」という呼び掛けから3年間で全校導入を実現されました。「既に地域の教育力も高いし、今更CSを導入しなくても」という意見もある中、「今ある地域力を再構築していけばすぐにCSの仕組みを作ることができる。その仕組みによって将来にわたり地域と学校が徐々に結びつき、地域が教育の場であるという意識が根付いていく」と学校へ働きかけたそうです。早川教育長以下、岐阜市で取り組まれている地域の教育者としての自覚を促す姿勢は、参加者にCSの新たな可能性に気付かせてくれる内容でした。

【午前】基調講演(牧野篤 東京大学大学院教授)

テーマ:30年後の社会をつくる子どもたちのために —コミュニティ・スクールといま私たちがすべきこと—

これからの社会の大きなテーマは「The Social (社会的であること)」

基調講演では、牧野篤教授より、社会に開かれた教育課程や社会構造の変化、子どもの貧困等、様々な角度から地域コミュニティや地域・学校の協働の可能性についてお話いただきました。多様性・多元性と複雑性が增大するこれからの社会において、子ども・若者が緩い繋がりを持って地域コミュニティを作り、住民が地域のフルメンバーとして活躍できる社会へ発展するための基礎となる地域学校協働活動の役割について、専門的なご意見を分かりやすくお話いただきました。



↓開会行事の様子(下間康行 文部科学省大臣官房審議官 挨拶)

↓1,300人の参加者で会場は満席になりました!



【午後】パネルディスカッション～始めよう広げようC・S～



ファシリテーター

NPO法人カタリバ 代表理事 今村 久美 氏

パネリスト

東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏

岐阜大学大学院教育学研究科 准教授 吉澤 寛之 氏

岐阜市立岐阜小学校運営協議会 委員 青山 朋宏 氏

岐阜市立長良西小学校 6年 辻 壮士郎 さん

岐阜市立東長良中学校 3年 田中 一之介 さん

岐阜県立岐阜高等学校 3年 日々 安奈 さん

午後は小・中・高校生の皆さんも交えてパネルディスカッションを行いました。会場の皆さんとも意見交換をしながら、充実した議論が展開されました。

【パネリストの皆さんの主なご意見】

- ・保護者だけではなく、地域の多様な大人たちと関わることで、子どもの社会性や主体性が育まれる。
- ・様々な大人と関われるCSを通じて、子どもたちが地域の大人を身近に感じて「こんな大人になりたい」と憧れることが、積極的に学ぶ姿勢や進路選択に影響していると思う。
- ・CSは学校の負担を保護者や地域が肩代わりするための仕組みではなく、学校・保護者・地域がそれぞれにできることを最大限取り組めるようにするための仕組みであると思う。
- ・何か新しいことをやろうとすると「負担が増える」と意見が出るが、そこが論点ではなく、「子どもの成長を軸に、学校を核として地域総がかりで何ができるか」という議論をするべきではないか。

【児童・生徒の皆さんの主なご意見】

- ・総合的な学習の時間に消防団の方から「誰かのためにまず自分が動く」という姿勢を教わり、自分もそういう姿勢を身に付けたいと思った。
- ・地域の方から実際に地域活動に対する思いを聞いたことで、教科書から学ぶ以上に理解が深まった。
- ・地域の大人たちが子どもたちの未来のことを考えていることや自分のことを認めてくれていることを、もっと子どもたちが知っていかなければならない。

参加者からの声

- ・子どもが育っていくと共に地域も元気になれる制度であるCSの有用性を改めて感じた。
- ・意見発表からパネルディスカッションまで、現状の認識とこれからの課題解決に向けて多くの示唆をいただけた有意義な研究大会であった。

岐阜市教育委員会 早川 三根夫 教育長からのメッセージ

- ▲信長公岐阜命名450年の記念すべき年に、全国から多くの関係者に参加いただき、御礼申し上げます。
- ▲本市は、コミュニティ・スクール先進地に比べてディープな取組が出来ているわけではありません。そうした中で本市において開催したのは、コミュニティ・スクール化に迷っている教育委員会や学校、地域に対して、「意外にいいものかも」「もう本校はコミュニティ・スクール以上の実態がある」という感想や確信をもっていただくためです。
- ▲さらに、生涯学習との接点としてのコミュニティ・スクールのあり方という牧野東京大学教授の新鮮な提言は、今後コミュニティ・スクールの持続的発展のためのメインストリームになっていくことでしょう。
- ▲スーパーなコーディネーターがどこにでもいるわけではありません。市民一人一人のささやかな連携へのマインドが、総和として大きな力となります。これが岐阜市の目指すコミュニティ・スクールの方向です。その効果は、吉澤岐阜大学准教授等の調査で証明されました。
- ▲多くの感想をいただきました。これらを反省として、励みとして生かしてまいります。
- ▲タイトな日程のため、十分に信長公が愛した城下町「岐阜」を堪能できなかった皆様、また堪能いただけた皆様。信長公は、宣教師レイス・フロイスとの別れ際に、語りました。
「美濃へは何度でも訪れよ」
ありがとうございました。



平成29年度 役員・支部長及び評議員紹介

1 役員

会長	在田 正秀	(京都市教育長)
副会長	佐々田 亨三	(秋田県由利本荘市教育長)
会計監事	菅野 和良	(岡山市教育長)
会計監事	山本 直俊	(福岡県春日市教育長)
顧問	鈴木 寛	(東京大学教授, 慶應義塾大学教授, 文部科学大臣補佐官)
顧問	貝ノ瀬 滋	(文部科学省初等中等教育局視学委員, 東京家政大学特任教授, 東京都教育会会長)
顧問	生田 義久	(京都市教育委員会企画顧問, 京都市前教育長, 佛教大学教授)

2 評議員(正会員のうちの教育長) ※氏名の前に◎印は支部長

支部	都道府県名	教育委員会	教育長	支部	都道府県名	教育委員会	教育長	
北海道	北海道	北広島市	◎ 吉田 孝志	37	鳥取県	南部町	永江 多輝夫	
		三笠市	永田 徹	38		伯耆町	後藤 弥	
		寿都町	有田 千尋	39	岡山県	岡山市	◎ 菅野 和良	
		東神楽町	水野 和男	40		美咲町	柴原 靖彦	
岩手県	岩手県	岩泉町	三上 潤	41	広島県	尾道市	佐藤 昌弘	
		大槌町	伊藤 正治	42		北広島町	池田 庄策	
	秋田県	由利本荘市	◎ 佐々田 亨三	43	山口県	岩国市	佐倉 弘之甫	
		にかほ市	齋藤 光正	44		下関市	波佐間 清	
山形県		川西町	小野 庄士	45		周南市	中馬 好行	
福島県	三春町	高橋 正美	46	長門市		松浦 正彦		
	大玉村	佐藤 吉郎	47	光市		能美 龍文		
群馬県	群馬県	伊勢崎市	徳江 基行	48		防府市	杉山 一茂	
		高崎市	飯野 眞幸	49		美祢市	岡崎 堅次	
	埼玉県	新座市	金子 廣志	50		柳井市	桑原 眞	
		ふじみ野市	朝倉 孝	51		山口市	岩城 精二	
	東京都	深谷市	小柳 光春	52		固防大島町	西川 敏之	
		足立区	定野 司	53	四国	徳島県	東みよし町	◎ 川原 良正
		世田谷区	堀 恵子	54	福岡県	飯塚市	西 大輔	
		日野市	米田 裕治	55		春日市	◎ 山本 直俊	
		三鷹市	◎ 高部 明夫	56		太宰府市	木村 甚治	
		武蔵村山市	持田 浩志	57		福津市	柴田 幸尚	
神奈川県	開成町	鳥海 均	58	宇美町		山本 浩		
新潟県	上越市	◎ 中野 敏明	59	大木町		平山 浩一		
	聖籠町	伊藤 順治	60	筑前町		大雄 信英		
長野県	湯沢町	島村 文男	61	那珂川町		安川 正郷		
	山形村	根橋 範男	62	嬉野市		杉崎 士郎		
岐阜県	岐阜市	◎ 早川 三根夫	63	佐賀県		鹿島市	江島 秀隆	
	白川村	倉 嘉宏	64		佐賀市	東島 正明		
三重県	津市	倉田 幸則	65	熊本県	宇土市	太田 耕幸		
	津賀島	谷口 茂雄	66		玉名市	池田 誠一		
京都府	京都市	◎ 在田 正秀	67		高森町	佐藤 増夫		
	精華町	太田 信之	68		氷川町	太田 篤洋		
	大阪府	河内長野市	和田 栄	69	津久見市	平山 正雄		
兵庫県	朝来市	垣尾 幸博	70	大分県	豊後高田市	河野 潔		
	宍粟市	西岡 章寿	71		玖珠町	秋吉 徹成		
和歌山県	新宮市	楠本 秀一	72	鹿児島県	南さつま市	出口 定昭		

※評議員一覧は平成29年4月時点

※甲信越支部長の上越市は中野敏明教育長が平成29年7月26日に退任され、野澤剛教育長が就任

- 顧問 3名
- 正会員 400名
(うち評議員 72名)
- 特別会員 31名
- 賛助会員 2名
- 会員総数 436名

(事務局) 京都市教育委員会 生涯学習部 学校地域協働推進担当 Tel: (075) 251-0456
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549
Email: gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp